

3 新町・古町地区

(1) 現状と課題

- 本地区は、呉服町、細工町などの地名とともに歴史と伝統、さらには「一町一寺」という城下町特有の町割りが現存する風情ある町並みが残る地区である。
- また、減少を続けていた居住人口が、近年、マンション等の立地により、歯止めがかかっている。しかし、風情ある町並みとの調和が図れていないなどの課題もある。
- 近年、本地区では、地蔵祭りや風流街浪漫フェスタなどの地域独自の祭りや市五福地域開発センターを拠点に、様々なまちづくり活動が行われ、平成17年には「熊本駅都心間協働のまちづくり計画書」が地域と行政協働によりとりまとめられた。
- 今後は、この計画に基づき、歴史と伝統が残る本地区の特性を活かしながら、魅力ある町並み形成や他地区との回遊性の向上、さらには、地域コミュニティ活動の活性化などによる生活環境の改善を図っていかなければならない。

(2) 整備方針

本地区は、明治、大正時代の歴史的建造物や石橋などが数多く残る個性豊かな地区であり、熊本駅と熊本城や通町・桜町周辺地区を結ぶ地域として、大変重要な地域である。

よって、九州新幹線鹿児島ルートの全線開業を間近に控え城下町としての魅力と趣のある当地区的ポテンシャルを最大限に活かしたまちづくりを展開していく。

また、現在、地域住民の主体的な参画により、これらの地域固有の財産を活かしたまちづくりが進められているところであり、今後も、官民が連携し、古の城下町の「町並み」や「人」を体感でき、来熊者に心温まるおもてなしができる取り組みをさらに盛り上げていくこととする。

さらに、地域資源を活かして回遊性の高い新たな観光スポットを創出し、街中を流れる河川を活用しつつ、地域景観へ配慮した居住環境の形成、地域福祉、環境保全など、地域コミュニティ活動を促進し、誰もが快適に活動できるまちづくりを進める。

